

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 24日

事業所名 子どもデイサービスどんまい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1部屋に人が密集してしまうことがあれば、スタッフが人数の調整を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		利用人数によって部屋ごとの必要人数を決めている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		スロープがない場所では必要に応じて移動式のスロープを設置している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		課題があればミーティングで話し合いを行い改善を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		意見を多くいただいた内容は次年度から意識して改善を行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月の研修を行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		MOアセスメントを行っている。	大田ステージの更新ができていないので、すぐに行う。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			固定化しないように工夫はしているが、利用者さんの個々の状況に応じて課題が違うため、同じプログラムをスモールステップで長期間行った方がよい場合もある。それらを踏まえてプログラムを考慮しなければならない。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日や長期休暇はお出かけやイベント等、楽しめる活動を設定するよう努めている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		本人の気持ちに合わせてスケジュールの変更、内容の短縮を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		行動障害の利用者に対しては特に細やかに支援内容を検討し確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		気になる事案が発生した際は必ず行っているが、時間の関係でその日の職員全員での打ち合わせが出来ない日もある。その際は、必要事項を記録し、翌日のサービス提供前ミーティングで共有するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録は必ず取るように徹底している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		月一の支援会議でモニタリングを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 24日

事業所名 子どもデイサービスどんまい

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			複数人で参加する機会を増やしていく。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校の先生とは送迎先や電話での連絡を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現段階では、医療的ケア児の受け入れが出来る体制が整っていない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		相談支援専門員さんを通じて情報を得るようにしているが、こちらから直接連絡は取れていない。 来年度の新一年生は連携を取れるように努める。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		積極的に情報提供を行っている	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修機会がある場合は参加している。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		強度行動障害のお子さんは、環境が変わると不穏になられる為、現段階では難しい。他事業所の事例などを参考にして、出来る方法を模索する。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		参加の案内があれば参加をするように努める。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や電話、メール、送迎時等にやりとりをおこない理解を深めるよう努力している。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者様の面談を行い、困っていることのサポートを行っている。		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に必ず全文を読み上げて説明している。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要な情報を聞いて、保護者様の気持ちに寄り添って助言や支援を行っている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			親の会を開催しているが、その日に参加できない方もおられる為、開催日時の検討を行う必要がある。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情の窓口を設置して迅速に対応するように心掛けている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			どんまい通信を年に一回、まとめて発行しているため、定期的に発行、またはホームページで定期的に配信できるよう努力する。
	35 個人情報に十分注意している	○		職員十か条に個人情報保護の項目を入れ、職員全員で毎日唱和している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 24日

事業所名 子どもデイサービスどんまい

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		こちらが地域に向いて参加させて頂くことはしているが、招待することはないので今後検討を行う。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		利用者様用のマニュアルを作成し、毎年配布している。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回避難訓練の実施をしている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待委員会を設置して拘束、虐待研修等を行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現段階では対象者はいないが、保護者様に同意をおこない、支援計画書にも記入する等職員へ周知し、整備している。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーの調査を必ず行い、適切に対処している。	
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事例集は作成していないが、ヒヤリハット報告とそれに伴う「なぜなぜ分析」を行い記録し、それをファイリングして常に共有できるようにしている。	